

2007 年度の活動

回数 (通算)	月日	報告者	報告題目
1 (96)	5/16	韓 文選 (小樽商科大学大学院 商学研究科修士課程)	大規模小売業者による優越的地位の濫用について
2 (97)	6/20	遠山 純弘 (小樽商科大学准教授)	不能と解除—債務法改正に向けて—
3 (98)	7/18	才原 慶道 (小樽商科大学准教授)	(判例評釈) 内部分裂と不正競争防止法 2 条 1 項 1 号の請求権者 —東京地判平 16.3.11 平 13(ワ)21187 と東京高判平 17.3.16 平 16(ネ)2000 を素材に—
4 (99)	10/31	河野 憲一郎 (小樽商科大学准教授)	ドイツにおける調停手続への関心の高まりと日本における民事調停手続—帰朝報告を兼ねて
5 (100)	11/21	佐藤 寿志 (小樽商科大学大学院 修士課程)	法人税法 34 条に規定する「不相当に高額な部分の金額」について —判例研究 名古屋地判 平成 6 年 6 月 15 日—
		井上 文人 (小樽商科大学大学院 修士課程)	会社法における少数派株主の締め出し
6 (101)	12/12	松岡 清華 (小樽商科大学大学院 修士課程)	独占禁止法 25 条の存在意義について
		韓 文選 (小樽商科大学大学院 修士課程)	大規模小売業者による優越的地位の濫用
7 (102)	1/23	南 侑太 (小樽商科大学大学院 修士課程)	租税回避行為の否認 —私法上の法律構成による否認論の民法理論からの検討—
		八木澤 礼子 (小樽商科大学大学院 修士課程)	過払年金に対する返還請求の可否

■ 幹事：齋藤由起／今本啓介

■ 肩書は当時（敬称略）